



群馬県コンクール 金賞

毎月第三日曜日

太田市立太田小学校 6年 橋本 詩音

「これ、ぜひ参加してみてください。」

友人はそう言って、一枚のチラシを私に手渡した。そこには、かわいいイラストと共に、「子ども食堂」
「毎月第三日曜日開催」と書いてあった。

みんなは、子ども食堂って知ってる？私は知らなかった。もらったチラシには、「食事を作りたい
子ども募集」とも書いてあった。私は、学校の家庭科の授業で料理を習ってから、ご飯を作ることが
好きになった。食べたみんながおいしいと喜んでくれるからだ。なんだか楽しそうだなと思い、参加
してみようと思った。

子ども食堂とは、子どもの孤食を減らすための居場所作り、また保護者への子育て支援を目的とし
て、子どもやその保護者に対し、無料または安価で栄養のある食事を提供する場所だということは、
インターネットで調べてわかった。参加した子ども食堂では、さらに、朝ご飯やお昼ご飯を食べない
子どもが増えているので、みんなで一緒に作ったり食べることで、交流を深めたい、食の楽しさや美
味しさを伝えたいという目的もあるそうだ。

当日、まず受付を見てびっくりした。いくつもの箱の中に、なすやトウモロコシなどの沢山の野菜。
そして、大量のパン。これは後から、この子ども食堂を応援してくれている地元の農家やスーパー、
パン屋などからの寄付だと知った。農家からは、見た目が少し悪く、スーパーでは売ることができな
い野菜。スーパーやパン屋からは、売れ残ってしまったが、まだ食べられるものを、無しように寄付
してくれたそうだ。昨年、SDGsの授業でも、フードロスについて学んだが、こういったところに
活かされているんだなと思った。

この日は、ハンバーグと寄付された野菜を使った味そ汁や野菜いためなどをみんなで作った。ハン
バーグを焼く時にボロボロになってしまった時には、となりの人にアドバイスをもらった。盛りつけ
は、みんなでどうやってつめていくと、きれいに、速くつめられるか相談しながらパックにつめるこ
とで、美味しそうなお弁当を時間内に作ることができた。みんなで一生けん命作ったお弁当は、地域
の人たちも買いに来てくれた。お弁当だけではなく、寄付された野菜やパンも一緒に渡していて、フ
ードロス削減に協力していた。自分も、他に参加した人達と一緒に食べた。いろいろ話をしながら食
べて、笑顔になった。こういった取り組みをみんなに知ってもらうことで、小さい頃から料理に興味
を持ってもらったり、みんなで食事をする楽しさを学べる。また、SDGsの一かんとして、フード
ロス削減にもこうけんできる、素晴らしい体験の場だと思った。私がここで発表することで、この取
組みがもっと広がるといいなと思う。

来月の第三日曜日も、今から楽しみだ。